



土曜学習「わがまち 多治見大好き講座」 アンケートのまとめ

第3期 多治見の現代陶芸家になろう (7/6)

I・受講生より

1. 講座に参加して、どうでしたか？

A よかった 98% B よくなかった 2%

2. 多治見はよい所だと思いませんか？

A 思った 98% B かわらない 2%

3. 多治見がもっとよくなるといいと思いませんか？

A 思った 95% B 思わない 5%

- ・陶器を作る人が一生懸命作っていたからです。
- ・みなさんの「美濃焼を受け継いでいきたい。」と、いう思いが伝わってきたからです。
- ・セラミックパークにお客さんが増えて、陶器がたくさん増えてほしいです。



- ・現代陶芸美術館をいろんな人にもっと知ってもらいたいです。
- ・中学生の人たちが、優しかったからです。

- ・「多治見の陶器が時代に応じて発展するといいな。」と、思いました。転写のような新しい技術がまた生まれるかもしれないから、ブームになってほしいです。
- ・もっと多治見の歴史が多くできてほしいです。
- ・今日のイベントが楽しかったので、たくさんの人に体験してもらいたいです。

4. 自分も「わがまち多治見」のために何かしたいと思いましたか。

A 思った 80% B 思わない 18%

- ・私も大人になったら、「わがまち多治見」のために陶器を作りたいです。
- ・陶器にかかわる仕事がしてみたいです。
- ・将来陶芸家になるのが夢です！！
- ・中学生になったら中学生ボランティアになって、小学生のサポートをしたいです。
- ・講座に参加して多治見市のことを知りたいです。
- ・買うのではなく、お皿を作ってみたいです。
- ・タイルを作ってみたいし、それを壁とかに付けてみたいです。
- ・きれいなまちにしたいので、ゴミが落ちていたら拾いたいです。
- ・市外の人に多治見のよさを広めたいです。

- ・多治見をもっと進化させたいです。
- ・暑さ対策でミストをいっぱい設置したいです。
- ・協力できることがあればがんばりたいです。

① 内容について

a. リサ・ラーソン展

- ・いろいろな物や陶器を見せてくださり、ありがとうございます。多治見をもっと大切にしたいと思いました。(小2)
- ・リサ・ラーソン展がおもしろかったです。いろいろな顔や動物がたくさんあって、それぞれ顔や形も全く違い、この世に1つしかないような物だと感じました。(小5)
- ・大変楽しい時間だったようです。「お母さんもリサラーソン展行った方がいいよ。俺も一緒に行く。」と、言っています。(小4保護者)

b. バックヤード

- ・バックヤードに作品を保存するためにいろいろな仕組みがあってびっくりした。その建物の広さとは思えない陶器保存の広い場所があってびっくりしました。すごく重い作品を運ぶクレーンやエレベーター、道具がありました。(小4) 普段は見ることのできない場所が見ることができそこにはたくさんの工夫がしてあることが分かり、あたりまえのことでも裏で支えてくれている人がいることに少し気づいた様子でした。(小4保護者)
- ・楽しかったです。トラックが入る所が大きくてびっくりしました。エレベーターもマンションとかのよりも倍大きくてびっくりしました。(小3) この講座を受ける前から、この日をとても楽しみにしていました。現代陶芸美術館はとても素敵な所なので、子どもたちが多治見の誇りとして美術館に足を運んでくれたらうれしいです。(小3保護者)



c. 絵付け(転写)体験

- ・自分がお茶碗に、ねこや魚、エサの形を切り取って貼っていたら、中学生ボランティアの人や先生方が「ねこ上手だね。」「かわいいね。」と、ほめてくださったのでうれしかったです。(小5)
- ・転写がうまくできるか不安でした。あまり上手にできなくても、すごく楽しかったし、教えてくれる人たちが「上手。」「かわいい。」「バランスがいいね。」と、ほめてくれてうれしかったです。(小5)
- ・左利きハサミもあり、兄弟2人とも使えて助かりました。(小3保護者)



※制作時間が足らず、もっと作っていたかったよう

す。作る人見学する人の選択もよいのでは。
(小2保護者)

② ふれあい

- ・1年生なので途中で飽きてしまわないか心配でしたが、「楽しくてあつという間に過ぎた。」と、話してくれたので、行ってよかったです。(小1保護者)
- ・「ボランティアの方や講師の方、大人の方たちに非常によくしていただいた。」と、聞いております。日頃落ち着きがない点もあり、心配していましたが、本人はとても楽しかったようで、安心しました。
(小3保護者)
- ・大きいお兄さんお姉さんとの交流も、今の自分との違いが感じる事ができ、「すごいなあ〜。」と、言っていました。(小1保護者)
- ・「同じグループになった子とお友達になれてうれしかった。」と、言っていました。(小3保護者)
- ・異学年の子たちと芸術を通していろいろなコミュニケーションを図ることができ、毎回楽しんで参加しています。多治見ならではの歴史や芸術にふれる機会を今後も増やしてほしいです。(小3保護者)



③ 全体のまとめ

- ・土曜学習に参加するのは今回で3回目ですが、いつやっても楽しいものです。普段見ない物、見ることができない物にまで注目しながらの見学も、集中しながらやる細かい作業もどれも土曜学習じゃなきゃやらないようなことができてとてもよい経験につながっています。私たちからすると、とても面白みがあって楽しい講座でした。多治見の魅力が伝わってきて本当に良かったです。ありがとうございました。(中1)



II. 中学生ボランティアより

1. 講座に参加して、どうでしたか？

A よかった 100%

2. 多治見はよい所だと思いませんか？

A 思った 100%

3. 多治見がもっとよくなるといいと思いませんか？

A 思った 100%

- ・自分の住んでいるまちが豊かになればいいです。
- ・自分の住んでいるまちだから他の人に誇れるまちになってほしいです。
- ・たくさん頑張ってくれている人がいたからです。
- ・講座の参加者が積極的に学んでいたからです。
- ・体験した小学生たちが「将来こうなりたい！」と、言っていたからです。

4. 自分も「わがまち多治見」のために何かしたいと思いませんか？

A 思った 100%

- ・ボランティアに積極的に参加したいです。
- ・陶器のよさを多くの人に広めていきたいです。
- ・伝統の発信をしていきたいです。
- ・多治見のことをもっと知りたいです。

① 感想

- ・多治見のよさは、みんなきちんと約束を守れていたことです。次はボランティアとしてもっとときばき動きたいです。(中1)
- ・学校が全く違う子や小さい子とも仲よく話せて楽しかったです。こういった市単位だと今まで全く知らなかった人と仲よくなり、共通点を見つけることもできました。今後も続けて欲しいです。次の中学生ボランティアもやりたいです。(中3)
- ・普段家で食器として陶器を使っていますが、今回見たこともないようなデザインの物があって、驚きました。食器だけでなく、置物もあり、粘土だけではなくガラスや金箔が貼ってある物など、様々あってみていて楽しかったです。今回はお皿に転写しましたが、絵を貼ったり描いたりだけではなく、1から陶器のデザインをしてみたいと思いました。(中2)

